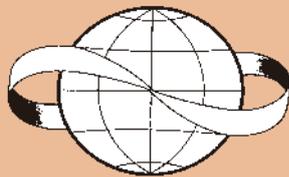


ヴェーナス通信



Venous (静脈) Venus (護美の女神)

第50号

商標登録第 4882482 号

発行 東多摩再資源化事業協同組合
理事長 紺野武郎 編集長 吉浦高志
東京都東村山市久米川町1-16-18
TEL: 042-395-9788
FAX: 042-395-9787

東日本大震災に心から
お見舞いを申し上げます。

一・M9.0 恐怖の破壊力

三月十一日の巨大地震と大津波は、東日本の尊い人命・家財・農水産業や商工業の基盤・施設や技術・名勝そして伝統までも一瞬に飲み込んだ。
その後の福島原発の破損による放射性物質の流出で我が国が培ってきた安心への伝説も失なわれようとしている。

亡くなられた方や行方不明者は合わせて二万五千人におよび、直接被災された方々は四十万人にも達していると言う。

国内は言うに及ばず八千km離れた米国カリフォルニア州の漁港でも、津波によって漁船など十六隻が沈没五十隻が破損していたと言うから、想像を絶する被害の甚大さを改めて思い知らされた。

がれきと化した住宅家財・船舶車輛など推計は、仙台市だけを見ても、二千五百万トンにおよび、通常の廃棄物処理量の二三年分にもなると言う。またその処分は、一時集積所で分別して焼却・埋立・リサイクルなどされると言うが、一時集積所に持ち込まれた分

二・組合の対応

が二ヶ月過ぎた今でもまだ三%にも満たないようだ。(次ページに、震災直後現地で支援活動された大久保様のご寄稿文掲載)

同業者多数の被災も確認され、東多摩再資源化事業協同組合も、直ちに支援活動を開始した。
組合員の旅行積立金を供出してもらい、リサイクルセンターの年一回の行事であるボーリング大会も中止して日赤に送金した。
さらに組合員やその従業員などの協力を戴いて義援金を募り、上部団体の日資連や東リ協会・東資協などを通じて募金した。

合計で二百二十五万円余りとなったが、引き続き組合員による義援活動を続けている。

なお東リ協会では、東京都の要請を受けて、四月一七日より車輛や作業員を順次被災地に派遣し、復興支援にも参加している。

三・これからのリサイクル 事業に与える影響

我国は、国内で回収した再生資源を、国内で再利用する率が高いと言う点で世界でも秀でている。

再生資源の受け皿となる機構が充実していることだが、鉄・非鉄スクラップはじめ古紙や廃プラ類などの再利用基地が、此の度

の被災地に集中していた。さらにそこからは、新たな原材料や多種多様な製品・部品を生産発送していたから、被害は全国に全産業におよぶことになった。

長年にわたって培ってきた循環型リサイクルやサプライチェーンの一部もちぎれかかっているので一日も早い復興をしなければならぬ。
そのほかにも原発による放射能の影響や風評被害、電力不足など計り知れない困難があり被災地で発生する大量の資源物の再利用も最優先課題になって来る。

四・真の環境重視社会づくりを

今回の東電による計画停電は、生活様式を考える機会となった。小紙でも我が国の無駄使いの多さを再三指摘してきた。

節電の一五%以上実施は、産業界だけでなく市民生活にも徹底を呼びかけなければならない。

膨張し続けなければ成り立たないような経済活動は見直して、持続可能な環境重視社会の模範となるような国づくりを、他の先進国に先駆けて実行する必然の時となったように思う。

原子力発電の見直し、水力・地熱・風力・太陽光など自然エネルギーの最大限の活用も緊急課題としてほしい。

(T・K)

リサイクル適性 (A)

直言拝聴

東北大震災と福島原子力発電事故の 放射能問題に遭遇して

関東製紙原料商工組合
株式会社 大久保 代表取締役
理事長 大久保 信隆



三月十一日私は富士市で静岡県家庭紙工業会の方と会議中で、午後二時四六分グラグラと来て電気が消えました。全員が東海沖地震かと思いましたが、ちょうど呼んでいたタクシーがいたので飛び乗りました。新富士駅へ途中信号機は我々の行く方向は青のままでした。駅へ着き地震は三陸沖と聞き一安心したが、新幹線はストップで待機をしました。東京マグニチュード6強、三陸沖8.8(後ほど9)の巨大地震とのこと、東北は大変だ、新幹線動かない、会社へ電話して五時半の会議は中止すると頼むが、東京は大丈夫だが揺れが凄いとのことでした。しばらくしてテレビを見ると名取川へ津波が上がって来て堤防を乗り越えて家の集落アツトという間に水が流れ込んで行く所が映し出される。次に仙台飛行場が水びたしのところも映しだされる。我が社の東北営業所は名取市にあるので、おい大丈夫かと心配となる。直ぐ電話すると幸い繋がった。

「ベラー品が落ちるような揺れでしたが全員無事です」との返事でした。「水も来ません」との事で二安心でした。六時過ぎに新幹線が動き出す隣の三島まで二時間もかかる。線路に異常が無いかと点検しながらの徐行運転で東京駅到着は十一時過ぎでした。JRはストップしており、人はいつばいで地下道には皆、行儀よく新聞紙敷いて徹夜を覚悟して座っておりました。地下鉄銀座線が動いていると聞き京橋まで歩き乗りましたが、地下鉄も満員でひと駅ひと駅の玉突き徐行運転でした。上野駅で降り家まで歩きましたが表道路は真夜中でしたが人の列、列でした。上野駅は大シャッターが下りているのでタクシー待ちの人と出入り口が混乱状態で警察官が整理にあたっておりました。家へは十二時半過ぎに辿り着きました。

翌日朝、栗原宅へ彼の褒章の祝いを行うかどうか、当事者からの意向を聴く。皆さんに中止の連絡が取れないので来られるかただけでやる。こと決定する。時間が経つにつれ青森、岩手、宮城、福島、茨城、そして千葉県まで大惨事の報道がドンドン出てきた。なんとか栗原さんのお祝い実行委員長の大役を果たすことが出来ました。十四日には十七日から関東商組の中国調査を順延することにする。そして十五日には東日本の製紙会社や同業者の被害は甚大なので古紙原料の供給は国内最優先を方向づけすることを関東地区メーカー代表に約束する。

その間、八戸の三菱、石巻の日本も津波で全滅だ、岩沼工場は地震被害が大きい、丸三製紙も被害あるぞ、福島の原子力発電所が地震と津波に遭われた。鹿島工業地帯も軒並み津波被害が大きい千乗の製油所が燃えている。東日本各地で約三万人も死者、行方不明者が出ています。自然の恐ろしさ中、荒川区では友好都市釜石市に救援物資を持って行く大型車を擁していることを聞き、我が社が名乗りあげ、十七日に毛布、マットレス、粉ミルク、ポリ管、トイレットロール等の物資を大型車一杯積んで出発しました。緊急車両は東北高速道路を通れるし、サービエリアで給油は出来ると言われたが佐野のサービエリアでは軽油売り切れの看板で駄目でした。十六日東北は雪だったので前日から大型スタッドレスタイヤを探すが何処も無く東北の出入りの運送屋が矢板で手配して頂いたので降りたらガソリンスタンド前は車の行列でガソリン不足でした。タイヤを替えている間に緊急車両だけ軽油を入れてくれるか尋ねたところ五〇リッターまで入れてくれるとの事で、並んでる中、割り込みをし、軽油を入れて高速道路へ途中の道路はかなりデコボコが有ったり亀裂が目立つ、郡山を過ぎてスタン

ドへ寄ったがまた軽油無し、自衛

隊の車は隊列を組んで時速八〇〜一〇〇kmで機動隊の車も一緒だ。そんな中、資源新報の大橋君から電話がくる。放射能問題で紙の中国輸出がストップしますよ”何故だ””放射能値違反すると罰金六〇万円、シップバック或は没収そして輸出登録の取り消しがあると、中国系商社がファックスを昨日流したので各商社は皆止めましたよ””輸出は国対国だよ、風評だから組合から経済産業省に確かめて見るから混乱を起こさせないようにしてくれ”と頼んで運転続行する。あとで、案の定放射能検査をしてなかった人達の方セネタだった。そんなやり取り遣っている間に仙台手前から雪が降り出した。暗くなり雪が本降りとなる。出かける時、西川太一郎荒川区長から二次災害だけは無いようにの言葉が脳裏を掠める慎重に運転する。前沢サービスイリアで休憩と軽油を満タンにして北上インターで高速を降り、一路遠野市へ向かう、午後九時過ぎ市役所へ着く、先発隊の荒川区職員を待つこと三〇分そして合流後、大型車両を駐車する場所まで行き、荒川区前線基地の民宿で遅い夕食を食べ、十二時頃布団を敷きつめて雑魚寝スタイルで寝る。朝五時過ぎ起床、朝食後出発道路は凍りついている。モ

タモタ大阪の消防隊が前を走る、普通タイヤだ、しようがないねと追い抜く、釜石の手前で後ろからサイレンを鳴らして追い抜いて行く、大阪の消防車早朝から何も無いのに到着時間に遅れているのだなどと思う。

最初水道局で真ん中に積んだポリ管を抜き出す、そして救援物資受け取り所へ待つこと三時間、その間自衛隊の車が避難場所へ物資を届けている。地元消防団の人達も車で荷物を持っていく、緊張が漂う中、非常に目が回るような忙しさだ。ようやく下ろす時間がくる、ラガーマン釜石シーウェーブの力強い人達がボランティアで来てくれたのであつという間に直ぐ下ろせました。

その後、本部で釜石市長、野田武郎さんに会い西川区長のメッセージを伝え、水道局の方の案内で港から街の中心部への津波の勢いは凄く爪痕だ、屋根の上にある車、あたり一面クラッシュヤーに掛けられたごとくグチャグチャの様相を見せて頂き、釜石市の人達が難局を乗り越えて復興、復旧に頑張つて頂くこと願って帰途に着きました。途中本田敏秋遠野市長にも一宿のお礼を述べてから名取の東北営業所へ向かい自分の目で台輿だけ壊れただけを見てホット一安心

しました。

その夜東北製紙原料協同組合理事長佐藤清隆さんを訪ね東北の状況を聴き、仙台は今日から電気がついたと喜んで”これからです””と言っているのが印象的でした。ガンバレ東北です。十九日荒川区へ帰って報告して救援物資配送の任務は完了しました。

商船三井の船がアモイ港で放射線問題からシップバックされたみたいだ。古紙を積んでいたのでは？古紙輸出が止まるような話が再度でました。あくまでも”冷静に冷静に”放射能値の基準値以下なら輸出出来るのだから、実際商船三井は船の船首が基準値を上回ったので神戸へ引き返しただけと経済産業省から報告ありました。船が福島沖一二五kmの地点を通過しただけを中国は見た結果だと思ふ。これから風評に惑わされないことと原子力発電から出る放射能については冷静な行動をしないでほならないので四月の関東商組共販事業の見積を取らず順延させました。いくら想定外といっても一日でも早く原子力発電の放射能問題を解決してほしい。科学者の皆さん関係者の皆さん頑張つて下さい。日本製紙適合会の三月需給速報によると紙、板紙の国内出荷は前年比▲五・二%で五カ月ぶりに減

少した。印刷、情報用紙▲十一・八%の二桁域で板紙は十〇・九%と伸び率は鈍化するものの五カ月連続プラスとなった。大震災発生直後の需給状況としては思ったより良いみたいだ。四月どうなるか発表が楽しみになるが、一方四月末急に古紙の荷止めが出ました。五月は休みが多いので悪くなる前兆か、古紙の需給ギャップを関東商組の小委員会です測すると四三〇万トンとなる一〜三月の輸出通関量は百一十一万t4倍すると四百四十四万トンとなる業者はバランス良く輸出していると思います。ガイガー測定を確り測つて、中国輸出を行わないと古紙は余剰となります。

東北を復興させるには日本人が皆確り仕事して最低五年間は稼がなくては復旧、復興資金は出来ません。日本は負けて焼け野原の中、我らの父、母が我武者羅に働いたようにしなくては行けないのでは、ライフスタイルの転換期を迎えました。日本の古紙は売れます。

我々古紙業者は電気が無いとプレス作業が出来ません今から節電対策をしなくてはなりません。考えましよう。一考として涼しいうち仕事をサマータイムの導入はどうでしょうか、労働時間の活用と生産性を高めましよう。

「第十八回TAMAとくまんとん討論会」

毎年、NPO法人東京・多摩リサイクル市民連邦が主催し各地で開催されているが、今年も「西東京」・「東村山」・「日野」と3つの会場にてリレー方式で行われる事となった。

平成二十三年一月二二日

コール田無 多目的ホール

「西東京の会場は一〇〇名の参加者があり『ごみダイエットとリバウンド』を大きなテーマとして行われ、基調講演として、エッセイストの金子由紀子さんから「ごみを出さない暮らしのすすめ」をテーマに主婦目線のユニークな講演があった。

最初の登壇者として東京・多摩市民連邦の池田千城さんから「成功したダイエットをリバウンドさせないために」をテーマに市民からの発信するごみ減量の具体的な分析・提案がありました。

二人目の登壇者は行政側からとして、西東京市ごみ減量推進課統括技能長の三村元彦さんから「西東京市のごみ減量の成功のポイントと今後の対策」をテーマに平成二〇年から行われた家庭ごみ三事業の取り組みの報告と今後の対策が話された。

最後の登壇者としてジャガイモの会の金成ハツエさんから「ごみ

を出さない暮らしの提案」をテーマに具体的なアンケート調査等の数字を示した講演がおこなわれ、最後に質疑応答となり盛況のなか閉会となった。(福田)

一月三〇日

東村山市市民センター

「東村山のごみ問題と再生資源業界の現状」と題して行われた。総勢百名を越す市民の参加があった。基調講演は、「廃棄物中間処理施設のストックマネージメント」について西川東村山市資源循環部長が話された。秋水園ごみ焼却施設の延命化改修工事に至るまでの経過を、ダイオキシン、CO2など環境側面や建設コストなどを新規工事と検討、比較して説明された。続いて事例発表として愛称「夢ハウス」の活動報告を、美住リサイクルショップ運営委員会副委員長

の秋本さんが行なった。「夢ハウス」を拠点に広く市民に、ごみの資源化とごみ減量をいろいろの活動を通して拡げている事、又「夢ハウス」の企画立案から予算要求を市民だけで行っている事のやりがいと、責任を語っていた。今後の活動として、商品の提供側である大手スーパーや小売店への発生活抑制推進協力などを進める事を報

告した。続いてリレートークが行われた。初めに「悪質な資源物の持ち去りの実態と対策」を吉浦日本再生資源事業協同組合連合会理事が、持ち去り行為の卑劣さや、古紙回収現場の苦しみの声を報告した。又組合として持ち去り行為を無くする為に製紙会社、商社、直納問屋、回収業界に協力の要望書提出を行ない、多くの賛同を得た事の報告もされた。次に東京都が立ち上げた「古紙持ち去り問題対策協議会」の内容を報告し、都内の持ち去り量と被害額の推計などを佐々木多摩市リサイクル協同組合理事長が報告した。「古紙について」は上田東京都リサイクル事業協会会長が報告した。紙のリサイクルマークなどくわしい説明があった。「古繊維について」木村キムラセイ(株)代表取締役会長が古繊維リサイクルの現状と問題点と題して、家庭から出た古繊維の流れのなかで、ほとんどが中古衣料でリサイクルされている事を報告した。又中古衣料として輸出されているが今後は現地でゴミ化しないように選別して良い物を出す事も大事になると語った。次に「リターナブルびん・缶・PET」

ボトルについて「戸部東リ協会副会長が、ガラスびんの生産量が減少傾向でペットボトルが増えているとの報告があった。「カレットについて」菅沢東リ協会副会長が、見た目は同じでもガラスびんのかかに耐熱ガラス、クリスタルガラ

スはガラスびんリサイクルで利用出来ないで、家庭での排出時選別が大変重要であると報告した。最後にリレートークのメンバーがパネラーになり参加者とディスカッションを行ない大盛況のなかで終了した。(吉浦)



平成二十三年二月八日、 平成二十三年二月十日

東村山市立第二中学校 職場体験学習

去る二月八日から十日の三日間、東村山市立第二中学校の職場体験学習があり当組合では、奥山商店、三栄サービス、JP資源、日興紙業商事、水野商会の組合員五社が協力した。

緊張した面持ちで、各社の朝礼に参加した後、トラックに同乗して古紙回収や、ヤード内にて選別作業などを経験してもらった。古紙が、どのように回収され、選別加工され、どこに運ばれるのかを体験学習して頂いた。なれない重労働にもかかわらず、懸命に作業していた。午後は組合で勉強会とリサイクル実カテストを行った。

回収車両へのドライブレコーダー取付けを推進

当組合では、昨年一二月に開催した回収車両運転者安全講習会で実施したドライブレコーダー映像を用いたシミュレーションを受け、回収車両にドライブレコーダーの設置の推進を決定しました。各社へ購入助成を行い、現在一〇〇台近くの車両に取り付けが進んでいます。

ドライブレコーダーとは、運転席のフロントガラスに取り付けられた小型のカメラで、運転中常に映像と音声を記録するもので、事故やトラブルが発生した場合の証拠として有効な機器であります。



フロントガラスに取り付けられたドライブレコーダー

事故だけでなく、持ち去り業者と遭遇した場合、車両やナンバーはもちろんです。作業の様子まで撮影することができます。

また、運転手にとっても、車内の音声が録音されますし、管理者が運転の様子をチェックすることもできるので、緊張感を持つてハンドルを握って作業することになり、安全運転の推進や事故の抑制にもつながることが期待されます。



記録された映像はSDカードに保存され、パソコンで見ることができ。上記は立川市付近を通行中の実際の映像

また、今後組合員の協力のもと、万が一事故が発生した場合やヒヤリハットの映像を独自に保存・蓄積し、安全講習会等でのKY（危険予知）活動に役立てていきたいと考えています。（紺野J）

青ナンバー事業所のアルコールチェック義務化を受けて...

震災の影響で一ヶ月延期となつていましたが、五月一日から事業用自動車（青ナンバー車両）を使用する事業所において出庫時、帰庫時の面前点呼によるアルコー

ルチェックが義務化されることとなりました。これを受け、当組合では、三月中に全組合員でアルコールチェックの共同購入をし、いち早く朝夕の点呼時におけるアルコールチェックを開始しました。



実施している点呼時のアルコールチェックの様子

始めてから二カ月近く経過しますが、今のところ反応が出たという報告は受けておりません。

また、各社での点呼やアルコールチェックが励行されるようになつても、これまで官公需適格組合の認証のもとに実施してきた共同受注検査は、もちろん並行して継続的に行っていくことで、更なる業務品質向上や作業場の安全向上に努めてまいります。（紺野J）

第九回東多摩再資協

青年部通常総会を開催

去る四月二十九日（金）、第九回と



なる青年部通常総会を久米川小千谷にて開催した。出席者全員で先の震災の被災地に向け黙祷を行い、司会の水野幹事の開会のあいさつで開会した。第三代の福田青年部長は、『来年で一〇周年を迎えるこの青年部をますます盛り立てていく決意を表明するとともに、実際にこの組合の携わっている現場で作業している若い人材の声を汲み上げつつ作業品質や安全の向上につながる動きを行っていく』と挨拶した。その後、議長に立候補した柿崎部員の議事進行の元、全ての議案が満場一致を持って承認された。来賓代表の紺野理事長は、『総会成立おめでとうございました。日頃、共同受注検査等で青年部の皆様には組合の業務の根幹を担って頂き、理事を代表して感謝申し上げます。組合業務も大事ですが、青年部はよく学び、よく遊ぶ。どうぞ視察研修など積極的に実施して見聞を広げて下さい』と有難い挨拶を頂いた。時節柄ささやかながら総会を無事終了した。（紺野J）

寄本勝美先生ご逝去

一九七八年早稲田大学政治経済学部教授に就任され一九九四年には同学部学部長・常任理事などを歴任された。行政学・地方自治論・環境政策などを専攻され、特に我が国の環境・ごみ・リサイクル問題の研究と発展に多大なる貢献をされた。去る三月二十八日(逝去)。

(享年七〇歳)

先生に初めてお会いしたのは、二五年ほど前になりますが、東村山市の「清掃問題協議会」の委員長に就任され、小生もリサイクル事業者として加えて頂いた時でした。今は各市町村に「廃棄物減量等推進審議会」の開催が義務付けられています。当時この協議会は、市民主導で行政の事業を点検し意見や提言をする画期的な試みとして注目されました。

以来各種リサイクルシンポジウムやイベントで一緒にさせて頂くなどして、数々のご指導ご教示を賜りました。

「TAMAとことん討論会」は、『TAMAらいふ21』事業で寄本先生が中心になって立ち上げられ、今年で一八年目を迎えました。その間実行委員長として務めてこられました。

一八回目の討論会は一月三〇日、先生の地元東村山市で開催され、く我々東多摩再資源化事業協同組合

が企画担当することになりました。そのときのご挨拶と討論会でのご発言などお元気なお姿が最後になつてしまふとは痛惜に耐えませんが長い間お世話になりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。(合掌) 紺野

行事・行動

【二月】

- 一日：東京都古紙持去り対策協議会
- 三日：青年部会議
- 五日：東資協新年会
- 八日：東資協理事会
- ：福利厚生委員会
- 一日：定例理事会
- 一四日：小平RC責任者会議
- 二〇日：小平市長後援会・総会
- 二二日：福利厚生委員会
- 二三日：(社)東り協会理事会
- 二四日：古紙C業務委員会
- 二八日：23区廃棄物処理料懇談会

【三月】

- 二日：資源回収員安全講習会
- 三日：古紙C古紙回収特別委員会
- 四日：日資連・古紙持去りPG
- ：集団回収委員会
- 七日：(社)東り協会・S缶協
- ：集団回収意見交換会
- 八日：東資協・理事会
- 一日：東日本大震災
- 四日：小平RC責任者会議
- ：定例理事会
- 一八日：東村山市資源回収を楽し
- くすめる会
- 二二日：集団回収小委員会

- 二三日：東京都古紙持去り対策協議会
- 二四日：古紙C業務委員会
- 二五日：財務委員会
- 二六日：古紙ネット・総会
- 二九日：(社)東り協会・理事会総会
- 三〇日：広報委員会

【四月】

- 四日：各種団体フォーラム
- 六日：西東京市集団回収懇談会
- 七日：東資協理事会
- ：集団回収小委員会
- 一日：定例理事会
- 一四日：小平RC責任者会議
- 一六日：日資連・理事会
- 一九日：(社)東り協会・理事会
- ：福利厚生委員会
- 二一日：小平RC責任者会議
- 二二日：中央会・役員会
- 二五日：古紙C業務委員会
- ：福利厚生委員会
- 二六日：青年部会議
- 二七日：広報委員会
- 二九日：青年部・総会

【五月】

- 六日：財務委員会
- 九日：古紙C古紙回収特別委員会
- ：東資協・理事会
- ：東村山市資源回収を楽し
- くすめる会
- 一〇日：会計監査
- 一日：定例理事会
- 一三日：日資連・総会
- ：小平RC責任者会議
- 一七日：中央会・総会
- 二一日：東資協・総会
- 二三日：古紙C業務委員会
- ：通常総会
- 三〇日：(社)東り協会・理事会総会

編集後記

今号に御寄稿くださいました関東商組大久保理事長様、有難う御座いました。使命感を帯びた4日間が文章の中からひしひしと感じられます。

東日本大震災では日資連組合員の方も被災されている。日資連組合本部では義援金を募り、下部組織の東北六県資源組合に直接渡された。被災された方々にはこれからも出来るだけの支援を続けなければと思う。製紙会社も被害を受けたが日本製紙石巻工場と丸三製紙以外は順次生産再開をしている。時間と努力をかさねて今迄以上の活気のある地域を創って頂きたい。バブル崩壊以降しよぼくれた日々が続いていたが、大久保理事長が書かれていた様に、戦後我らの父母が、がむしゃらに働いてきた様に復興を少しでも早める為にも私達が日々の生活、仕事を活気みなぎる様にして行きたい。努力をかさねてきた「持ち去り古紙流通阻止運動」も東京都の協力でかなり前進できそうだ。行政、警察、地域組合がうまく連携を取れている地域は持ち去りも減少していると思う。これからは「持ち去り古紙解決」に向かってガンバルゾ。

吉浦